

SRSotcrete工法

(特殊ポリマーセメントモルタル吹付けによる既設RC橋脚巻立て耐震補強工)

SRSotcrete工法 NETIS登録番号: QS-070007-V
吹付床版下面増厚工法 NETIS登録番号: KK-980085-A

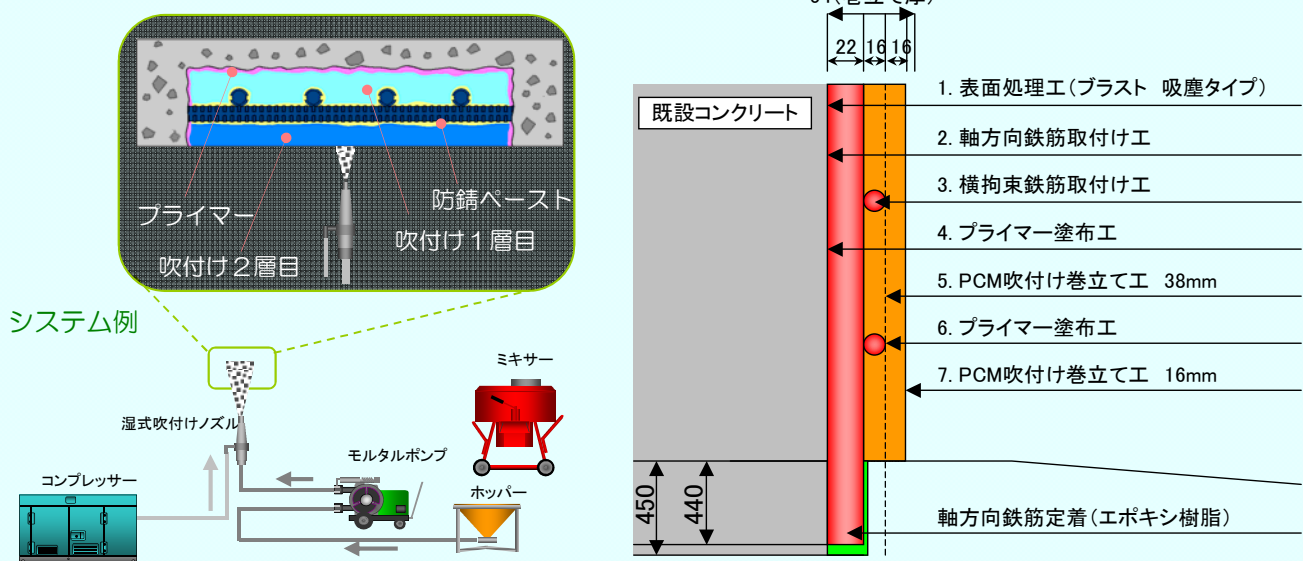
SRSotcrete工法は、補強筋を既設橋脚面に接触配置し、所定のかぶりを確保するまで特殊ポリマーセメントモルタル（PCM）を吹付けることで、既設橋脚と一体化し耐震性能を向上させる工法です。巻立て厚をRC巻き立て工法の1/5程度に抑制することができ、既設橋脚のかぶりをハツリとすることで、河川阻害率の増大を更に低減させることも可能です。また、断面増加に伴う自重の増加も小さいため、橋脚基礎への負担も軽減することが特徴です。

概要

■特徴

- ①河川阻害率や建築限界、自重の増加が問題となる橋梁の橋脚に有効
- ②施工速度が従来工法より大幅に向上
- ③優れた施工性

標準施工図例



施工フロー



施工事例

